厚生·産業·企業常任委員会 資料3 令和6年(2024年)12月13日 健康医療福祉部健康危機管理課

衛生科学センター整備にかかる進捗状況等について

1. 事業スケジュール

衛生科学センターについては、老朽化に伴い移転建替による整備を以下のスケジュールで進めているところであり、現在の進捗状況等について報告する。

| 令和3年度 | あり方検討会議の設置・開催、現地建替可能性調査の実施 |
|-------------|--|
| 令和4年度 | 衛生科学センター整備基本計画の策定、整備手法の簡易検討を実施 |
| 令和5年度 | PPP/PFI手法導入可能性調査を実施「整備手法をDB方式に決定」※ ※DB方式(デザインビルド方式)とは、設計と施工の両方を単一業者(共同企業体も含む)に一括して発注する方式。 |
| 令和6年度 | 設計・施工者選定等支援業務委託、要求水準書案の作成、地質調査の実施 |
| 令和7年度(予定) | DB事業者の選定、DB事業受注者による基本設計の実施 |
| 令和8~9年度(予定) | DB事業受注者による実施設計・建築工事、供用開始 |

2. 令和6年度の進捗状況

①設計・施工者選定等支援業務委託について

令和6年8月5日に公募型プロポーザル審査会を実施し、選定された事業者と契約締結。

| 受 | 託 | | 者 | 日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 |
|---|----|---|---|-------------------------------------|
| 契 | 約 | 期 | 間 | 令和6年8月30日~令和7年9月30日 |
| 契 | 約 | 金 | 額 | 29,381,000 円(R7年度債務負担行為 設定済) |
| 委 | 託 | 内 | 歇 | 要求水準書作成支援、設計·施工者選定支援 |
| | | | | (コンストラクション・マネジメント業務) |
| ٦ | れま | で | 9 | スケジュール立案/現センター現地確認/耐震グレードの検討/日影の検証/ |
| 対 | 応 | 状 | 況 | センター職員ヒアリング/諸室要件の確認/タタキ台となる図面の調製/ |
| | | | | サウンディング型市場調査の実施/地質調査仕様書案の検討/届出の調整 等 |
| | | | | (毎週金曜日に定例ミーティングで進捗管理) |

②サウンディング型市場調査について

令和6年10月3日に県HPで調査実施を公表して参加者を募り、DB方式での整備に関するサウンディング型市場調査を実施。

| 参加申込み期間 | 令和6年10月3日~10月15日 |
|---------|--------------------------------|
| 調査結果 | 11社から回答あり(施工を担う企業6社、設計を担う企業5社) |
| 参加 意欲 | 大いにある6社、参加条件による3社、その他2社 |
| 個別ヒアリング | ・提案期間は長く設定してほしい |
| での主な意見 | ・電気・空調などの設備関連の工事業者がひっ迫している |
| | ・建設物価はこれからも上がるだろうと考える |
| | ・研究や検査の什器備品は本工事とは別にしてほしい等 |

③PPP/PFI 事業に係る対応検討チーム会議について

事業の初期段階から庁内の部局横断的な連携を図りながら、円滑な施設整備を推進していてために設置された検討チーム会議について、これまで3回開催。

(財政課、建築課、環境政策課、健康危機管理課等が参加)

| 第1回(R6.5.2) | 事業概要・スケジュール確認、設計・施工者選定等支援業務の内容検討 等 |
|---------------|------------------------------------|
| 第2回(R6.6.20) | 設計・施工者選定等支援業務仕様書の検討 等 |
| 第3回(R6.10.15) | 整備予定地の地質調査業務仕様書の検討 等 |

④衛生科学センターとの整備検討会議・勉強会について

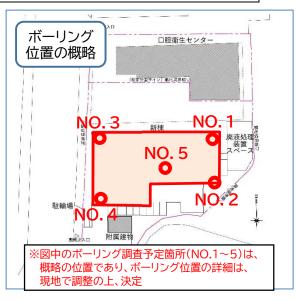
健康危機管理課、衛生科学センターで整備検討会議を設置し、その中の個別のプロジェクトチームにセンター全職員が参加して、施設整備、機能強化、開かれたセンターの具現化について検討するとともに勉強会を開催。

| 整 | 備検 | 討 | 整備検討会議: 2回開催 | |
|---|----|---|---|--|
| 会 | | 議 | 施設整備PT:2回開催 機能強化PT:3回開催 開かれたセンターPT:2回開催 | |
| 勉 | 強 | 会 | 開催日時: 令和6年9月30日 14時~15時30分 | |
| | | | 講師:川崎市健康安全研究所参与 岡部 信彦 氏(現:滋賀県参与) | |
| | | | 概要:川崎市健康安全研究所の移転時の成功例・失敗例の共有 | |
| | | | これからの地方衛生研究所に求められる役割 | |
| | | | 質疑応答、意見交換 | |

⑤整備予定地の地質調査について

衛生科学センター新築の構造設計に必要なデータを 得るために、整備予定地の地質調査を現在実施中。

| 実 施 期 間 | 令和6年12月上旬~令和7年3月中旬 |
|---------|---|
| ボーリング | 孔数:5本(30m×3本、25m×2本) |
| 各種試験 | ・標準突入試験 ・各層の土質を分類するための物理試験 ・粘性土を対象とした力学試験 |



<u>3. 今後の予定</u>

- ・タタキ台となる図面をもとに「健康危機管理事案に最先端の知見で迅速に対応できる地域に開かれたセンター」の具現化について、衛生科学センター整備検討会議やプロジェクトチームで検討を重ねて磨き上げ、要求水準書案に反映していく。
- ・要求水準に加え、サウンディング型市場調査結果や直近の物価動向も反映し、本事業における建設費、建設関連経費等の概算事業費を算定していく。
- ・工事発注スケジュールや発注区分等を調整し、設計・施工者選定用の募集要項や仕様書等の発注図書を作成して、公募手続きに向けた準備を進める。